



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

地域活性化対策について (平成26年6月)

六次産業化の現状と今後の取り組みは。
また、まちづくりプロジェクトチームを組織しては。

質問

農業振興・農作物のバックアップについて (平成26年12月)

J Aの旧来の検査法に町独自の食味をプラスしお墨付きを付ける事で、他産品と差別化を付ける売り方を考えられるか。役所内の組織改革が必要では。

六次産業化については商工会等の協力をもらいながら新商品開発を進めていきたい。
プロジェクトチームは専門家も入れた中で協議していく。

答弁

ブランド品として認定していく中で、食味を含めた基準を審査の中で検討していきたい。
ブランド品の販売で必要となる課・局等は検討していきたい。

現在の状況は、こうなっています

六次産業化については、商工会との連携を強化し、道の駅で新商品の開発を進め、今後クラブハウスとして活用していく旧七会中学校でも積極的に販売を行い、販路の確保等に取り組んでいく。

昨年度、地域づくり団体であるしろさとネットワークアーカー連絡協議会を創設し、活動が始まっていますので、協議会とも連携のうえ地域の活性化に取り組んでいく。

また、若者視点を取り入れるため、高校、大学と連携したプロジェクトが現在進行中。

コメの食味については、検討中。
施策を行っていくうえで、平成28年度まちづくり戦略課を組織し、ブランド品の販売等を注力して取り組んでいるところ。

農業体験施設については、昨年度実施した稲刈り体験ツアーは大変好評で、交流都市の江戸川区からは農業体験による交流の拡大を求められているので、今後地域資源の活用という観点からも積極的に取り組んでいく。

編集後記

新緑の季節を迎え、田にも苗が植えられ今年も豊作を祈りたいと思います。

さて、魅力度最下位の茨城県ですが、鹿島アントラーズの優勝に始まり、稀勢の里の横綱昇進・連続優勝、本屋大賞の恩田陸さん、朝ドラ「ひよっ子」など知名度は上がっていると思われるので魅力度にも期待したい。

城里町も誕生12年目に入りましたが、まだまだ知名度も魅力度もないと思われすが、少子化対策など子育て支援に力を入れていることをPRしたい。中学3年生までの医療費無料化、給食費小学生1000円、中学生2000円、4・5歳児保育料無料化、さらに小学生6年生を対象にした北海道へのふれあいの船事業など町独自の施策です。

町民の皆様にも、是非PRしていただきたいと思えます。
阿久津則男 記

議会広報委員会

委員長 関誠一郎
副委員長 藤美子
委員 阿久津健一
阿久津大介
河井原一
河部大蔵
片岡藏

阿久津健一
阿久津大介
河井原一
河部大蔵
片岡藏